

あの日学校で起きたこと

～改めて備えと災害時の対応について考える～

富谷市教育委員会 生涯学習専門指導員・相談員

戸倉小学校 元校長

麻生川 敦



独立行政法人教職員支援機構

目次

1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議
2. 東日本大震災における想定外の被災の実態
 - (1) 物質的な被災と心の被災
 - (2) 自然災害による心の被災と心の二次被災
3. 想定下にも潜むリスク
4. 完璧と思われる想定に潜む想定外のリスク
5. 「想定外を想定する」ために
6. 被災後におけるリスク
7. 心の傷のケアの重要性

1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議

1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議



(C) Mapion 地図データ (C) ZENRIN

1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議

第二次避難場所の宇津野高台 距離400m



校舎から宇津野高台を臨む

(撮影：手塚泰弘氏)

1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議

戸倉小学校津波被害の想定



(撮影：手塚泰弘氏)

1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議

2年間の協議

◇校長提案 速さを最優先 屋上避難

◇地元教員 次の避難への備え 高台避難

- 東北大地震・津波シミュレーション
- 日本海中部・北海道南西沖地震の被害
- 消防署の見解・チリ地震津波被害
- 避難訓練の計時・伝承による避難

◎ 安全性に「100点」をとれない状況

双方を避難場所とし、被災時に校長が選択

1. 震災の前の津波防災に関わる職員協議

2年間の協議・検討を振り返って

津波防災が日常的な話題へ

- マニュアルの検討サイクルの定着
マニュアルの強化へ
- 職員の防災意識が共通化
- 積極的な情報収集



自由闊達な協議 ← 自立した職員集団

2. 東日本大震災における想定外の被災の実態

(1) 物質的な被災と心の被災

想定外の自然の驚異



3月11日 15時26分56秒 津波上陸

(撮影：阿部一郎氏)



3月11日 15時27分50秒 上陸54秒後

(撮影：阿部一郎氏)



3月11日 15時28分08秒 上陸1分12秒後

(撮影：阿部一郎氏)



3月11日 15時28分36秒 上陸1分40秒後

(撮影：阿部一郎氏)



津波最高到達点

(撮影：阿部一郎氏)

津波が引きはじめた宇津野高台



津波最高到達点

(撮影：阿部一郎氏)

2. (1) 物質的な被災と心の被災

◇ 当日勤務外の非常勤講師からの申し出

- ・ 大津波警報の発令
- ・ 津波避難の原則と個人の希望

正常性バイアスと判断

避難後の判断と悔恨

2. 東日本大震災における想定外の被災の実態 (2) 自然災害による心の被災と心の二次被災

2. (2) 自然災害による心の被災と心の二次被災



被災による心の傷と第二の被災による心の傷

- 被災の傷 恐怖・孤独・絶望・悲嘆・罪悪感
- 第二の被災 寄り添いがない支援・心の孤立

復興や支援には被災者に寄り添う姿勢が不可欠

3. 想定下にも潜むリスク

3. 想定下にも潜むリスク

- (1) 想定下の対応策の継続的・実践的点検・改善
 - ・ **本当に安心なのか**
- (2) 天災は、忘れた頃にやってくる
 - ・ **忘れない工夫・行動として定着させる**
- (3) 人間の特質の理解
 - **正常性バイアス・パニック**

防災の知識は「知っている」だけでは役に立たない

⇒ **行動すること**

4. 完璧と思われる想定に潜む想定外のリスク

4. 完璧と思われる想定に潜む想定外のリスク

- (1) 想定の完成度は**最高75%**程度ととらえる
- (2) 判断場面の想定、選択の余地を残す必要
→ **20%**
- (3) 想定外の事態も覚悟
→ **5%**



(2)、(3) は臨機応変の行動が求められる

自然災害に「絶対の安全」はない

5. 「想定外を想定する」ために

5. 「想定外を想定する」ために

- (1) 想定外が起こるといふ覚悟をもつ
 - (2) 想定外の状況判断を行う目をもつ
 - (3) 臨機応変に対応する力を上げる
- **正解のない判断 ⇒ ベストで立ち止まらず
ベターの行動を**
 - **地域・学校・家庭のつながり=信頼づくり**
 - **場数をふみ、失敗から学ぶ力の蓄積**

6. 被災後におけるリスク

6. 被災後におけるリスク

- (1) 学校の想定（リスク）を家庭・地域と共有する
- (2) 様々な被災と復興の道筋も想定しておく
 - ・ 学校を失う場合など、機能の継続・回復について
 - ・ 避難所を担う場合と不可能な場合など
 - ・ 「心の受傷」「家庭被災の影響」など
- (3) 判断ミスがあった場合、万が一の場合の対応

想定外 → 「正解のない判断」のリスクへの対応も

7. 心の傷のケアの重要性

7. 心の傷のケアの重要性

(1) 心の傷がもたらす第2の被災

- 被災の大きさと心の傷の大きさは比例しない
- 同じ被災でも心の傷は個人ごとに全く異なる
 - ⇒ 無理解による被災の連鎖・拡大
 - ※ ト라우マとはつながりを失うこと

(2) ケアの基本は「つながりをつける」

- 傾聴 違いを超えて、人と人を結ぶ
- 徹底的な共有 事実・思考・感情

あの日学校で起きたこと ～改めて備えと災害時の対応について考える～

富谷市教育委員会 生涯学習専門指導員・相談員
戸倉小学校 元校長
麻生川 敦



独立行政法人教職員支援機構